

授業科目(ナンバリング)	介護概論 I B (DA102)			担当教員	浦 秀美		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本授業は、介護概論 I A で学んだことをもとに、現状の理解を深め、介護の課題を解決するための具体的な取り組みを考える。そのため、介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習内容となる。具体的には、介護の「尊厳の保持」、「自立に向けた支援」、「介護を必要とする人」、「介護を必要とする人の生活を支えるしくみ」、「協働する多職種の役割と機能」をキーワードに介護を生活の観点から捉え理解を深めることと、介護を必要とする人を、生活者として考え、介護の生活について理解することをねらいとする。そして、本学のディプロマポリシーでも示されている（介護福祉士としての）専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとする。</p>							①④⑤⑧ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士としての専門的な知識・技術が理解できる。 介護理念に則り、現在の課題に適応して解決するための介護とは何か述べることができる。 					課題レポート	50%
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 介護に関連する情報を収集し、それらを分析する能力を身につけることができる。 					課題レポート	20%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 課題を的確に把握し、課題解決方法を述べるができる。 他の人と協力して課題解決に向けた方策を検討し、課題解決の方法を表現できる。 					事例検討、発表	10%
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討を通し、他者と自分の考え方を認識できる。 立場の状況の違いから多様性を理解することができる。 					事例検討、発表	20%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート（70%）：学びレポートやリフレクションカード、ワークシート等、その他別途課題を課す。課題によっては、体裁や文字数を指示し、文字数不足や誤字・脱字は減点の対象とする。評価後はポートフォリオや授業で紹介する等によりフィードバックする。 事例検討、発表（30%）：事例への取り組み姿勢や意見等の発表回数にて評価する。発表は授業内でコメントを返す形でフィードバックする。 							
授業の概要							
<p>利用者の尊厳を支える介護、自立に向けた介護等の考え方について、介護概論 I A で学んだことを深める形で介護に関する考え方や介護の現場で起こっている問題や課題を学び、問題の解決や課題の達成について検討を重ねながら展開していく（ディスカッションも行う）。また、介護や福祉の語句等の持つ意味を理解した上で、理解を深める学びとするため、介護概論 I A で学習した知識や用語を適宜確認しながら実施する。さらに、「自立に向けた介護、協働する多職種の役割と機能、介護を必要とする人の生活を支えるしくみ、介護を必要とする人の理解」の内容を学ぶ。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座3『介護の基本 I』中央法規出版株式会社 参考書：日経印刷株式会社『令和4年版 厚生労働白書』(2021) 指定図書：上記教科書</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

本講義は、介護福祉士と他の専門職の姿勢等、学ぶ機会となります。介護の概論やその基礎となる理念の学びを自分のものとし、利用者主体に考える考え方を身につけて欲しいと思います。また、介護概論 IA をより深める科目となっていますので、復習を十分に行っていただくことを期待します。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>介護福祉の基本となる理念</u> <u>介護福祉を取り巻く状況①</u>	オリエンテーション 介護福祉を学ぶことの必要性について考える	予習：介護を学ぶ意義を考える 復習：配付資料再読
2	<u>介護福祉を取り巻く状況②</u>	介護福祉を取り巻く状況について理解を深める (P2-20)	予習：P. 2～20 の通読 復習：配付資料の再読
3	<u>介護福祉を取り巻く状況③</u>	介護福祉の歴史について学び、狭義の介護と広義の介護を理解する。また、戦後から現在にかけて起こる介護の問題を挙げる (P21-38)	予習：P. 21～38 の通読 復習：配付資料の再読
4	<u>介護福祉士の役割と機能①</u> <u>協働する多職種の役割と機能①</u>	介護福祉士が高齢者・障害者に起こる介護の問題を解決するために取り組むことを考える (P42-52)	予習：P. 42～52 の通読 復習：配付資料の再読
5	<u>介護福祉士の役割と機能②</u> <u>協働する多職種の役割と機能②</u>	介護福祉の基本理念について理解を深め、尊厳を支える介護について考える。また介護問題の解決を他職種と協力して行うことを学ぶ (P53-65)	予習：P. 53～65 の通読 復習：配付資料の再読
6	<u>介護福祉士の役割と機能③</u> <u>介護福祉士の倫理①</u>	社会福祉士および介護福祉士法について理解を深め、心身の状況に応じた介護や介護福祉士の義務規定について考える。倫理的対応が必要な事例を検討する (P68-76)	予習：P. 68～76 の通読 復習：配付資料の再読
7	<u>介護の意義と役割①</u> <u>介護を必要とする人の理解</u>	介護福祉士の活動の場と役割について理解を深め、実践現場の現状と要介護者の現状を考える (P77-93)	予習：P. 77～93 の通読 復習：配付資料の再読
8	<u>介護の意義と役割②</u>	介護福祉士に求められる役割とその養成について理解した上で、介護予防の観点から高齢者への支援を考える (P94-100)	予習：P. 94～100 の通読 復習：配付資料の再読
9	<u>介護の意義と役割③</u> <u>尊厳の保持と自立に向けた介護①</u>	介護福祉士を支える団体について、現状を踏まえた上で理解を深め、尊厳のある介護や自立を支援する介護を考える (P107-115)	予習：P. 107～115 の通読 復習：配付資料の再読
10	<u>尊厳の保持と自立に向けた介護②</u> <u>介護福祉士の倫理②</u>	介護福祉士の倫理について、倫理的対応が必要な事例をもとに理解を深め、利用者の尊厳を保持するための利用者の役割や介護福祉士の役割を考える (P118-130)	予習：P. 118～130 の通読 復習：配付資料の再読
11	<u>尊厳の保持と自立に向けた介護③</u> <u>介護福祉士の倫理③</u>	日本介護福祉士会の倫理綱領をもとに、介護福祉士に求められる職業倫理について考える (P136-149)	予習：P. 136～149 の通読 復習：配付資料の再読
12	<u>尊厳の保持と自立に向けた介護④</u>	自立支援について理解を深め、利用者の意思決定の支援について事例を通し考える (P152-171)	予習：P. 152～171 の通読 復習：配付資料の再読
13	<u>自立に向けた介護①</u> <u>介護を必要とする人の生活を支えるしくみ①</u>	ICF の考え方について学びを深め、高齢者のストレスについて事例を通し考える (P172-179)	予習：P. 172～179 の通読 復習：配付資料の再読
14	<u>自立に向けた介護②</u> <u>介護を必要とする人の生活を支えるしくみ②</u>	自立支援とリハビリテーションについて理解を深め、介護福祉士の役割について事例を通し考える (P180-197)	予習：P. 180～197 の通読 復習：配付資料の再読
15	<u>自立に向けた介護③</u> <u>協働する多職種役割と機能③</u>	自立支援と介護予防について理解を深め、介護福祉士の役割と多職種役割について考える (P198-215)	予習：P. 198～215 の通読 復習：配付資料の再読